

第9章 ま と め

磐城平城文献等調査は、平成30年度から令和3年度にかけて実施し、令和3年度は報告書の編集作業を行った。調査は歴史・地図・城郭・埋蔵文化財の各部門で行い、磐城平城文献等調査会議の協議・検討を経て本報告書にその成果をまとめることができた。

歴史部門では、磐城平城に関わる17点の文献史料を掲載することができた。地図部門では、59点の絵図・地図等を資料化することができた。城郭部門では、磐城平城の縄張り^{なわば}の分析、本丸御殿・櫓^{やぐら}・城門について報告を行った。埋蔵文化財部門では平城の既往のすべての発掘調査成果を報告した。これらの調査成果は、これまでの調査研究を総合するものであり、将来、磐城平城を保護・活用する上で欠くことのできないものとなったと言えよう。本章では各章で述べた報告を踏まえ、磐城平城の主要な価値を明らかにしてまとめとしたい。

本質的な価値

磐城平城は江戸時代の城郭とその城下町からなる。いわき地方の政治支配の拠点であるだけでなく、地域社会の経済・文化の中心地としてその実態を具体的に示していることがもっとも重要な価値である。

ア 本丸と御殿跡

- ① 発掘調査で本丸御殿跡と庭園が発見され、地下に遺構が残っていることが分かった。
- ② 戊辰戦争の落城の実態を示す遺構・遺物が見つかった。
- ③ 御殿にふさわしい高級陶磁器のほか、焼塩壺・瓦・戸車・金属製品などが出土した。

イ 二ノ丸・三ノ丸をはじめ多くの曲輪が土地改変されずに遺存している。

ウ 築城期（慶長期）の石垣が残っている。

エ 丹後沢等の自然景観が維持されている。

オ 河川・堀と自然地形との関わりの重要性

カ 惣構と河川の密接な関わり、河川・堀を利用した舟運の発達

キ 豊富に残る文献史料・絵画資料により、城郭の土木工事・建築の実態、曲輪の使われ方がよく分かる。

副次的な価値

ア 城下町の町割りや地名が現在の市街地に残っている。

イ 城の西側の台地には飯野八幡宮をはじめ寺社が集中し、寺町の景観がよく残っている。

ウ 戦国大名岩城氏の大館城に、磐城平城は隣接しており、中世城郭から近世城郭への変遷をたどることができる。

ま と め

令和2年度に実施された（仮称）磐城平城・城跡公園整備事業にともなう発掘調査で、本丸御殿跡が発見されたことなどを踏まえて、いわき市は磐城平城の史跡指定に向けた検討を進めることとなった。本報告が、本市の歴史を振り返る上でその一助となり、磐城平城を地域の「たから」として、将来世代に引き継いでいくための資料となることを願いまとめとする。

磐城平城に関連する主な文献

自治体史

- 石 城 郡 1922 『石城郡誌』
 平 市 1959 『概説平市史』
 福 島 県 1965 『福島県史 近世資料1』第8巻
 福 島 県 1970 『福島県史 近世2』第3巻
 山 形 市 1971 『山形市史 近世編』中巻
 い わ き 市 1972 『いわき市史 近世資料』第9巻
 い わ き 市 1975 『いわき市史 近世』第2巻
 い わ き 市 1976 『いわき市史 原始古代中世資料』第8巻
 い わ き 市 1986 『いわき市史 原始古代中世』第1巻
 壬 生 町 1986 『壬生町史 資料編近世』

概説書・研究書・論考

- 諸根 樟一 1927 『磐城文化史』清光堂書店
 藤崎 定久 1971 「平城」『日本の古城1』新人物往来社
 明治大学内藤家文書研究会編 1972 『譜代藩の研究－譜代内藤藩領の藩政と藩領－』八木書店
 鈴木光四郎 1980 『磐城平藩政史』磐城平藩政史刊行会
 沼館 愛三 1980 「岩城大館」「平城」『会津・仙道・海道地方諸城の研究』伊吉書院
 藤崎 定久 1981 「大館城」「平城」『日本城郭大系 山形・宮城・福島』第3巻 新人物往来社
 里見 庫男 1986 「正保城絵図「磐城平城」について」『潮流』第11報 いわき地域学会
 小野 一雄 1989 「磐城平城と城下町」『図説福島県の歴史』河出書房新社
 いわき地域学会 1991 『新しいいわきの歴史』いわき地域学会図書10
 鈴木 貞夫 1992 『福島の歴史地理研究』いわき地域学会図書11
 鈴木 啓 1995 『図説 城と石垣の歴史』纂修堂
 里見庫男監修 1999 『図説いわきの歴史』郷土出版社
 鈴木 啓 2002 「平城」『ふくしまの城』歴史春秋社
 吉村仁作ほか 2003 『街道の日本史13 北茨城・磐城と相馬街道』吉川弘文館
 福島民報社 2007 『武者たちの舞台 下巻』
 猪狩みち子 2016 「磐城平城跡」『北日本における近世城郭研究報告資料集』日本考古学協会 2016年度弘前大会
 小宅 幸一 2016 「城跡の利活用にみる近代人の意識変容」『いわき明星大学研究紀要』通巻第29号
 中山 雅弘 2017 「磐城平城」『東北の名城を歩く』吉川弘文館
 上妻又四郎 2018 『磐城三藩の戊辰戦争 改訂増補版』雄峰舎
 木下 誠 2018 「館蔵資料紹介「極秘諸国城図」」『松江歴史館研究紀要』第6号
 夏井 芳徳 2019 『いわき戊辰探究』歴史春秋出版

史料・記録・絵図・資料集

- 味岡禮質編 1903 『戊辰私記』関内米三郎発行
 大須賀筠軒 1912 『磐城史料』（『磐城史料筠軒稿本』1964磐城史料筠軒稿本刊行会）
 平市教育委員会 1962 『内藤侯平藩史料』
 柳沼 徳実 1975 『平の文化財』平の文化財刊行会
 いわき史料集成刊行会 1987 『いわき史料集成』第二冊 纂修堂
 神崎 彰利 1988 「平藩」『藩史大事典 北海道・東北編』第1巻 雄山閣
 いわき地域学会編 1996 『磐城平城絵図等調査報告』
 いわき市立美術館 1997 『江戸時代のいわき』内藤家伝来の能面と江戸時代のいわき展図録
 平 安 会 2006 『磐城平藩と安藤家展』安藤家入部250年記念展示会図録 いわき歴史文化研究会編
 平 安 会 2013 『磐城平藩戊辰實戦記 藩士十六人の覚書』いわき歴史文化研究会編
 伊藤 光祥 2017 『富原文庫蔵陸軍省城絵図』戎光祥出版
 いわき市教育委員会 2017 『いわき市の文化財』
 平 安 会 2018 『古文書が語る磐城の戊辰史』いわき歴史文化研究会編